

2022 年度（第 10 回）全国キャラバン研修会

「エビデンスに基づく排泄援助の技」

開催報告

日 時：2023 年 2 月 19 日（日）13:00～15:00

参加者：76 名（会員 32 名、非会員 42 名、不明 2 名）＊申込 93 名

担当者：[浣 腸 班] 大久保暢子（聖路加国際大学） 栗田 愛（人間環境大学）

武田 利明（前岩手県立大学） 吉井紀子（大阪青山大学）

吉田みつ子（日本赤十字看護大学）

[温罨法班] 加藤 京里（静岡県立大学） 加藤木真史（神奈川県立保健福祉大学）

菅原 啓太（三重県立看護大学） 塚越みどり（東海大学）

野月 千春（JCHO 東京新宿メディカルセンター）

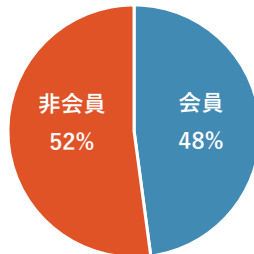
1. 研修会の内容

時間	内容
12：45～	・参加者入室開始
13：00～（10 分）	・オリエンテーション ・挨拶（大久保委員長、浣腸班・温罨法班メンバー） ・技術研究成果検討委員会の紹介
13：15～（60 分）	・グリセリン浣腸の有害事象のメカニズム ・グリセリン浣腸の有害事象の動向 ・グリセリン浣腸 Q&A 紹介と説明
14：15～（30 分）	・温罨法の安全性と効果 ・温罨法「丸山式」の実践報告
14：45～（10 分）	・質疑応答・意見交換
14：55～（5 分）	・記念撮影 ・アンケートのお願い
15：00	・参加者 Zoom 退出

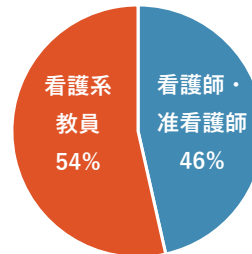
グリセリン浣腸と摘便については、グリセリン浣腸が原因である医療事故の動向、その機序、安全にグリセリン浣腸や摘便を実施するための実施方法について取り上げました。温罨法については、温罨法の効果と安全性、デモンストレーション動画を用いて実施のポイントを説明し、透析患者への実践報告をご紹介しました。今回も、前年度に引き続き、臨床や在宅の看護職と、教育機関に所属する教員がそれぞれ約半数参加していました。研修での質疑応答では、参加者からの質問に対して回答をいたしました。また、研修後のアンケートにも質問があったため、後日参加者全員に向けてメール配信で質問へ回答をしました。今回の研修会の内容が周囲の方との共有や教育に生かされ、良いケアが普及していくことを願っています。

2. アンケート結果（一部抜粋）[回答 71、回答率 93.4%]

1) あなたは日本看護技術学会の会員ですか？

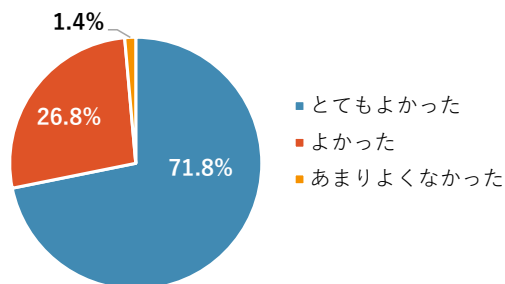


2) ご職業をお選びください。

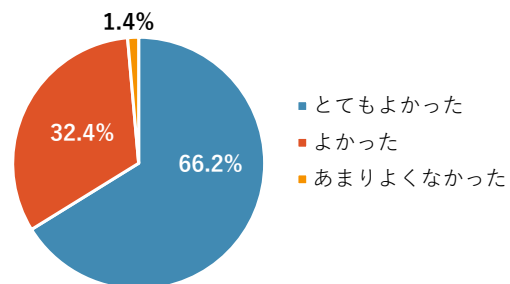


3) 研修会の内容はいかがでしたか？

①浣腸・摘便について



②温罨法について



4) 本日の研修会の感想などについてご自由にお書きください。

- ・ わかりやすく、改めて排泄援助の大切さを感じた。
- ・ 最新の援助技術のエビデンスを確認できよかった。
- ・ 武田先生の動物実験の結果は良く納得できた。
- ・ 摘便の動画がとてもわかりやすかった。
- ・ とても実践的で、エビデンスを追及した取り組みをしておられるのに感動した。キャラバン隊の取り組みで、臨床で患者さんに実施し、より良い排泄の援助が積み重ねられていくと希望が持てた。
- ・ 毎日のように浣腸や摘便を行っているが、改めて有害事象やアセスメント方法、根拠や手技を学ぶことができたので、より安全で効果の高いケアにつなげていきたい。
- ・ 浣腸・摘便を行うなら負担を少なくしたうえで、温罨法の有用性を理解したうえで、今後臨床の場にとり入れていけたらいいと思う。
- ・ 温罨法 Q&A 冊子は読んであったので、プラスアルファの内容を期待していた。
- ・ 事前資料の送付もあり快適に受講できた。遠方のため、休日かつ zoom 開催は、参加の可能性が高まりありがたい。

